

パブリックコメント募集結果

「白井市地域防災計画（素案）」について、市民の皆さまからご意見を募集しました結果、2名から4件の意見が寄せられました。

寄せられたご意見の概要とこれに対する市の考え方は、下記のとおりです。

案 件	白井市地域防災計画（素案）		
募 集 期 間	平成26年2月3日（月）～18日（火）※16日間		
意見の件数 （意見提出者数）	4件（2人）		
意見の取り扱い	修 正	案を修正するもの	0件
	既記載	既に案に盛り込んでいるもの	0件
	参 考	案には反映できないが今後の参考とするもの	1件
	その他	案には反映できないが意見として伺ったもの	3件

市民意見の概要	件数	意見に対する市の考え方
<p>平成25年12月19日内閣府中央防災会議は「首都圏直下地震」を見直した。そこでは「大正関東地震の断層域」の拡大に伴い東京湾北部地震は想定外とされた。そして、マグニチュード7.3の切迫地震はフィリピン海プレート内とされている。また、白井市直下の蛇紋岩化域（震源となりにくい）も再確認されている。</p> <p>また、文科省地震研究推進本部の首都圏の被害地震において、1100年以上に亘り、千葉県北西部では被害地域が発生していないことが記録されている。</p> <p>これらを合わせ考え白井市の防災アセスメントの見直しはどのように考えていますか。</p>	1	<p>白井市が平成12年度に実施した防災アセスメント調査では、白井市直下の深さ35kmを震源とするマグニチュード7.9の地震を想定していましたが、文部科学省地震調査研究推進本部では、相模トラフ沿いで次に発生する地震について、大正関東地震タイプのマグニチュード8クラスの地震が発生する確率は30年間で0～5%、南関東地域でマグニチュード7クラスの地震が発生する確率は30年間で70%と推定していることから、平成24年度の調査では、南関東地域で発生する最大クラスの地震として、白井市直下の深さ5kmを震源とするマグニチュード7.3の地震を想定しました。</p> <p>今後の見直しについては、国、県から示される新たな知見等や関係法令の改正を踏まえ、順次必要な見直しを検討します。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>

市民意見の概要	件数	意見に対する市の考え方
<p>フィリピン海プレート上面を震源とする切迫性の高い直下地震が「南関東のどこでも発生する」可能性があるならば、「白井市直下」であっても不思議ではない。とあるが、</p> <p>「白井市直下」は地震活動の低い「蛇紋岩化域」であることが平成17年の中央防災会議で首都直下地震想定で示されている。そして、M7.3の震源域からは明確に外されている。さらに、平成25年12月の中央防災会議の「首都直下地震の見直し」においても蛇紋岩化の領域の縮小を理由としてプレート境界の地震として茨城県・埼玉県境地震が追加されることとなった。</p> <p>また、大正関東地震の震源断層域の見直しにおいても蛇紋岩化域が断層の端となっている。このように「蛇紋岩化域の設定」は首都圏直下地震を想定する際の基本的な重要条件の一つである。然るに、歪エネルギーを蓄えることの出来ない「蛇紋岩化域」をM7.3の震源とした科学的根拠を示されたい。</p> <p>また、報告書で「蛇紋岩化域」について全く触れていない理由をお聞かせください。 (防災アセスメント P15)</p>	1	<p>文部科学省地震調査研究推進本部の知見により、千葉県北西部から北東部に蛇紋岩化域の分布が示されており、白井市域の直下にも蛇紋岩化域が分布していると考えられます。</p> <p>また、蛇紋岩化域における地震活動は低いとされていますが、発生確率の高いマグニチュード7クラスの震源の対象領域には千葉県全域が含まれていることから、蛇紋岩化域の分布にかかわらず最大クラスの地震を想定しました。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
<p>「東京湾北部地震」の震源を白井市の直下で浅いところに設定することにした。とあるが科学的根拠を示されたい。平成19年の千葉県地震被害想定では深さ17km～33kmとしている。神奈川県、東京都も同じ深さで想定している。</p> <p>平成24年には文部科学省委託協働研究（東京大学地震研究所、防災科学研究所、京都大学防災研究所）においても全く同様の深さであることを確認</p>	1	<p>市では、文部科学省地震調査研究推進本部の知見を参考に発生確率が高い南関東地域を震源とする最大クラスの地震を設定しました。</p> <p>震源を白井市直下の浅いところに設定したのは、最悪の事態を想定し、万全の態勢を取るためです。</p> <p>また、県は南関東地域を震源とするマグニチュード7クラスの地震として被害が最も大きくなる東京湾北部地震の被害想定に基づき地域防災計画を策</p>

市民意見の概要	件数	意見に対する市の考え方
<p>している。この研究では蛇紋岩化域も確認されている。</p> <p>中央防災会議でも地表断層が不明瞭な地殻内の浅い震源想定については深さ5km程度とされています。しかし、平成9年に千葉県は東京湾北縁断層調査において、千葉東葛地区（白井を含む）の地下構造も明らかにされ、活断層のないことが確認されており、地殻内の浅い震源を想定するのは不適切と考えます。</p> <p>(防災アセスメント P50 4.4.1 地震想定)</p> <p>東京湾北部地震の震度分布について上記の想定震度は千葉県も実施しております。</p> <p>中央防災会議より詳細な検討（千葉県の防災政策課に確認）がなされて、信頼性が高いと思われま。白井市復の想定震度は5.4となっており、国の震度6弱を下回っております。何故、千葉県の想定震度を採用しなかったのか、さらに、白井市直下の震度想定をする時、千葉県が採用したボーリングデータを採用しなかった理由を教えてください。県は茨城県南部地震は震度が小さいため検討対象から外した。</p> <p>(防災アセスメント P16 図 2.2.4)</p>		<p>定していますが、平成26年度から27年度の2カ年で被害想定を見直すこととしています。</p> <p>この見直しによる県の被害想定データは、市にも提供される予定ですので、参考にしてまいりたいと考えています。</p> <p style="text-align: right;">【その他】</p>
<p>福島原発事故3・11以降、放射線防護対策ができておりません。</p> <p>長野県松本市では地域防災計画に原子力災害対策編を策定しておられます。これにならって、早急に実現していただくことを要望いたします。</p>	1	<p>素案では、放射性物質事故予防対策、放射性物質事故応急対策、放射性物質事故復旧対策を定めています。原子力災害対策については、国等において各種の対策を検討しているため、今後も国等の動向を踏まえ対応してまいります。</p> <p style="text-align: right;">【参考】</p>